天白を元気にする社協発情報紙

ぱわわ

56号 March
2018年（平成30年）3月

ぱわわとは？

ぱわ 天白を元気にする力（パワー）
わ 地域をつなげる輪（わ）と和める（わ）たまり場づくり
そんな思いがひとつになって ぱわわ と名づけました！

［発行］社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会　情報紙「ぱわわ」プロジェクト
〒468-0015／名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階　TEL：052-809-5550　FAX：052-809-5551
E-mail：tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp　http：//www.tenpaku-shakyo.com
［編集］新日本印刷株式会社　〒468-0065／名古屋市天白区中砂町496　TEL：052-832-6851　FAX：052-832-6989
バックナンバーはこちら：http://www.tenpaku-shakyo.com/fr_06.html

情報紙「ぱわわ」へのご意見、ご感想も
はがき・FAX・メールにて受け付けています。

EYE LOVE EYE
視覚障がいその他の理由で活字のままで読むことが困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。

クローズアップ！

ゴミ出しに悩む人々へのホッとサポート

私たちの家庭や職場、学校などで毎日出される“ゴミ”。
ゴミの処理量は、名古屋市全体で年間約61万トンにのぼります。
そんななか、実は、ゴミを自力で出すことが難しく、サポートを必要としている世帯が増えつつあります。
今回は、ゴミ収集・分別の実態について、天白環境事業所の職員さんにお話しを伺いました。

天白区社会福祉協議会
キャラクター
てんてん

詳しくは、つぎのページに！⇒

高坂苑
天白区高坂町197-1
☎805-0100
◆特別養護老人ホーム
◆デイサービス
◆居宅介護支援事業所
◆ショートステイ
◆訪問介護
◆福祉用具
◆配食サービス

デイサービスセンター 大根 天白区大根町58 ☎808-8200
グループホーム 高坂苑 天白区高坂町196-1 ☎805-1220
住宅型有料老人ホーム 寿シニアハウス 平針 天白区平針3-1503 ☎807-3373
幼保連携型認定こども園 高坂こども園 天白区高坂町74 ☎804-0010
ホームページアドレス http://www.takasaka.info/

社会福祉法人 八事福祉会

◆特別養護老人ホーム 八事苑
◆デイサービスセンター 八事苑
◆ショートステイ
◆居宅介護支援事業所 八事苑
◆天白区西部いきいき支援センター
◆特別養護老人ホーム 第二八事苑

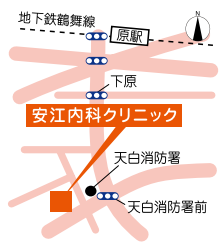
☎834-3000
Eメール yagotoen@yagotofukushikai.or.jp
URL http://www.yagotofukushikai.or.jp
天白区大坪二丁目801番地

介護職員等を募集しております
「やさしい心」が何よりの資格です。お気軽にお電話ください。
☎834-3000（人事担当）

安江内科クリニック
YASUE CLINIC
■ 診療科目 内科・消化器科・小児科
■ 診療時間

時間＼曜日	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:30	●	●	●	●	●	●
午後 4:30～7:30	●	●	●	●	●	／

■ 休診日 土曜午後・日曜・祝日
☎(052) 848-1788
天白区大根町370（天白消防署西隣）



天白環境事業所ってどんなところ?

業務内容

64人の職員が3つの係に分かれて運営しています。

指導管理係▶一般廃棄物の処理に関する指導および市民啓発、収集車の運転・管理
作 業 係▶一般廃棄物の収集作業にかかる実施計画、収集及び運搬作業
事 務 係▶相談受付、職員の安全・保健衛生・研修、保健環境委員や他機関との連絡・調整

区内で活躍する33台の収集車!

※委託収集車・資源収集車含む

1台あたり、2~3名で日々の収集作業を行っており、たくさんの目で街の様子をみています。

収集車が日々巡回するなかで、こんな出来事もありました。

ある日、収集作業を行っていた職員が、転倒している高齢者を発見。自力で歩くことが難しいと判断し救急車を要請。その結果、大事に至らずに済みました。まさに、街のパトロールですね!

住民から寄せられる主な相談内容

- カラス対策について
- 収集依頼、自己搬入の受付
- ゴミステーションの場所や収集時間について

知っていますか? マメ知識

カラスにゴミを荒らされないために…

カラスは“嗅覚”ではなく“視覚”でエサを探し、特に赤っぽいものや濡れたものを好むそうです。よって、生ゴミは新聞紙で包むなど、外から見えないようにすることが効果的です。

ゴミの分別はいつから始まった?

名古屋市は、平成10年度には、現在の1.5倍にあたる年間約100万トンのゴミを排出していました。当時、ゴミは毎年増え続けており、埋立処分場の限界が近づいていました。そこで、平成11年2月に「ゴミ非常事態宣言」を出し、徹底的なゴミ減量に取り組み始めました。現在行われている分別・リサイクルは、この宣言時に決まった方法です。

宣言から19年が経過しましたが、現在も、特にプラスチック製容器包装・紙製容器包装の分別ができていないことが多く、資源となり得るものもゴミとなり、ゴミの減量がなかなかできていないのが現状です。

環境事業所は、啓発活動として、収集ルートの目視調査を行い、必要に応じて訪問指導を実施していますが、何より一人ひとりが心がけて分別を実行することが必要です。

ゴミ減量のための3つのステップ“3つのR”

①Reduce=リデュース(発生抑制)	例:マイバッグを携帯し、必要以上にレジ袋をもらわない
②Reuse=リユース(再使用)	例:フリーマーケットやリユースショップなどを活用する
③Recycle=リサイクル(再生利用)	例:きちんと分別してから集積所に出す 古紙からつくった製品を選ぶ

増加する「ゴミの分別・搬出に悩む世帯」

ゴミの分別・資源化の認識が高まる一方、社会福祉協議会や高齢者の相談窓口であるいきいき支援センターには、様々な理由により、自力でゴミを分別・搬出することが困難な方からの相談が増えています。

理由

- **体力の衰えや病気・ケガ、障がいによりゴミを分別し、ゴミステーションへ持ち込むことができない**
- **認知症などにより、ゴミの収集日や分別方法がわからなくなる**
- **何十年と一緒に暮らしていた家族が亡くなり、無気力状態となってしまった　など**

→何らかの支援が必要と思われるにもかかわらず、相談先を本人が知らなかったり、周囲が本人の状況に気づかないこともあります。最終的に、セルフネグレクト(※)の状態となってしまう場合もあります。

※セルフネグレクトとは
自分の意思で、食事や衛生管理を行わず、自宅内の掃除、身なりなどにも無頓着になり、他者に対して援助も求めようとしない状態のこと。自分の意思とは別に、うつ病や認知症により発生する場合もあります。

ある日、社会福祉協議会に、ひとり暮らしのAさんについて、「自宅から異臭がする」などと、同じマンションの住民から相談がありました。

Aさん宅を訪問すると、室内にゴミが溜まっており、「ゴミの収集日がわからない…周りの人がゴミを出していると何となく出すのよ」と話されました。Aさんは、認知症により、日付や曜日がわからなくなっていました。その状況を心配したAさんの親族は、同居を提案しましたが、Aさんは「長年慣れ親しんだこの地域を離れたくない、ここで暮らしたい」と希望されました。そこで、ゴミを搬出日に出せるよう、以下のような名古屋市の取り組みを活用することにしました。

① 自治体がサポート“なごやか”収集

●ゴミや資源を収集場所まで運ぶことが困難な高齢者や障がいのある方への支援として平成13年より実施しています。
●環境事業所の職員が通常の収集作業のなかで、サービス利用者の自宅に伺い、玄関前からの収集を行います。一定期間ゴミが出ていない場合、環境事業所から本人に安否確認の連絡を行います。それでも連絡がつかない場合は、事前に聞き取った緊急連絡先に報告するなど、本人の見守りの役割も兼ねています。

問合先:天白環境事業所　天白区元八事五丁目231番地　TEL 052-833-4031(8:00~16:45 土・日休み)

② 住民同士で助け合う“地域支えあい事業”

●住民がボランティアとしてゴミの搬出等を行う取り組みであり、平成20年から名古屋市内において広まりつつあります。天白区内では表山・高坂・山根・しまだ・平針南・平針北学区において実施しています。(※)
●活動においては、本人の状況に合わせて搬出の頻度や方法を決めます。ボランティアが訪問した際に、本人が不在の場合は、安否確認として社会福祉協議会などに繋ぎます。
●身近に住む住民がボランティアとして活動することは、本人の困りごとを解決するだけでなく、顔見知りとなることで、地域とのつながりづくりにもなっています。本人にとっては、住み慣れた地域において暮らし続けることができるという安心感が生まれます。

※取り組みの内容は学区ごとで異なります。

問合先:天白区社会福祉協議会　天白区原一丁目301 原ターミナルビル3F　TEL 052-809-5550(8:45~17:15 土・日・祝休み)

現在、Aさんは昔からの友人に囲まれながら、自宅で元気に生活されています。

上記の取り組みのほか、「今日は不燃ゴミの日ではなく可燃ゴミの日ですよ」などと、さり気なく声をかけてくれることも助かるそうです。

Aさんのように、「慣れ親しんだ地域で暮らし続けたい」と願う方はたくさんみえます。ちょっとしたサポートが、そういった方々の生活を支えることになるのではないでしょうか。

ヘルパー募集!
あなたらしさを応援
研修・資格・交通費等各種手当あり!

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
まずはお気軽にお電話下さい
在宅福祉部 ☎052-731-9758
天白区介護保険事業所 ☎052-800-2255

介護保険のご相談受付します
・希望される方(介護認定を受けた方)は体験利用(食費400円のみ)でご利用できます。
・見学を希望される方もお気軽にお電話下さい。

隣接する野並保育園の園児との自然な交流が笑顔を呼びます。
野並デイサービスセンター 天白区福池2丁目340番地
http://www.nohonoho.com/index.html nonami.f@yk.commufa.jp
☎896-3434
FAX.899-0233

マスコットキャラクター
にこっち©ふれ愛ネット天白

ふれ愛ネット天白

誰もが安心して暮らすことのできる天白をめざして

問合先 「ふれ愛ネット天白」事務局
（天白区社会福祉協議会内）
TEL：809-5550　FAX：809-5551

会員募集中!

スマートフォンなどをお使いの方は、こちらのQRコードからFacebookページにアクセスしていただけます。
https://www.facebook.com/fureainettenpakukufukushikuminnotsudoi

ふれ愛ネット天白とは

天白区内の障がい児者・子ども・高齢者に関わるボランティア・団体・施設等が所属するゆるやかなネットワークです。会員間の交流を深めながら地域とのつながりを作ることで地域の福祉力を高め、「誰もが安心して暮らすことのできる天白区」をめざしています。

■活動紹介

ふれ愛ネット天白では、活動に関する情報発信を行うPR部会と会員間の交流会（年3回）を行うふれあい部会があります。また、社会福祉協議会との共同事業として、福祉区民のつどい（区民まつりと同時開催）を実行委員会形式で運営しています。今回は、今年度のふれあい部会の活動についてご紹介します。

第1回　顔合わせ交流会　7月1日（土）

5チームに分かれて魚釣りゲームをしました。ブルーシートの海に、紙製の魚やタコがいっぱい! 魚にクリップをつけて釣り上げました。優勝チームは32匹も釣り上げてましたよ!

第2回　やみなべ交流会　11月18日（土）

天白公園で各自入れたい具材を持ち寄り、鍋を囲む交流会の予定でしたが、残念ながら雨天のため中止になりました。

第3回　風船バレー交流会　3月10日（土）

チームに分かれて風船バレーを行います。ふわふわ飛び回る風船を椅子に座ったまま打ち返す、運動が苦手な方でも参加できるイベントです。

ふれ愛ネット天白に関心のある方でしたら、いつでも加入いただけます。詳しくはお問合せください♪

◀魚釣りゲームの様子

優勝チーム▶

この指とまれ! ボランティア・イベント情報

ボ ボランティア

ボ はつらつサポーター養成講座　参加者募集

高齢者がコミセン等で参加する介護予防事業「はつらつ長寿推進事業」のボランティア養成講座を開催します。高齢者の元気づくりをサポートして一緒に介護予防について理解を深めませんか?

■日時：4月17日（火）、5月22日（火）　13時30分～15時30分（連続講座）
■場所：天白区在宅サービスセンター研修室（原ターミナルビル3階）
■申込：4月16日（月）までに電話・FAX（住所・氏名・電話番号を明記）または直接お申し込みください。
■申込・問合先：天白区社会福祉協議会　担当/磯村（連絡先は本紙1面上部に記載）

ボ 誰でもできる点字教室　参加者募集

点字は、目の不自由な方が手で触って読む文字です。
ちょっと不思議な点字の世界の入り口へご案内します。どうぞ、ご参加ください。

■日時：6月14日（木）、21日（木）　10時～12時（連続講座）
■場所：天白区在宅サービスセンター研修室（原ターミナルビル3階）
■内容：点字の読み書き
■定員：20名（先着順）
■参加費：200円（保険料・資料代含む）
■持ち物：筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）
■主催：点訳グループ　みなづき会
■申込：6月7日（木）までに、電話・FAX（住所・氏名・電話番号を明記）または直接お申し込みください。
■申込・問合先：天白区社会福祉協議会　担当／堀江（連絡先は本紙1面上部に記載）

\しゃきょうからのお知らせ/

ボランティア保険のご案内

ボランティア活動中の傷害事故・賠償事故などを幅広く補償する保険です。
個人や団体で加入する「ボランティア活動保険」と、行事ごとに加入する「ボランティア行事用保険」があります。安心してボランティア活動するためにも、ぜひご加入ください。

ボランティア活動保険

補償期間：加入日の翌日から平成31年3月31日まで
受付翌日からの補償となります。ただし、4月分については3月から申込ができます。

ボランティア行事用保険

ボランティア行事を開催する前日までにお申込みください。

※いずれも加入手続き方法・保険料等詳細についてはお問合せください。

申込・問合先

天白区社会福祉協議会ボランティアセンター
担当／堀江（連絡先は本紙1面上部に記載）

平成30年度 福祉団体活動経費助成のご案内

地域に根ざした活動を行っているボランティア団体等の「メンバーを増やしたい! メンバーのスキルアップを図りたい!」という想いを支援するために、活動経費の一部を助成します。

【助成対象】 次のいずれにも該当する活動
○天白区内中心の福祉を目的とした活動
○営利を目的としない活動
○メンバーの確保や育成を目的とした活動

【助成対象経費】
平成30年度の活動にかかる、備品費や会場費、講師謝礼などの経費
※人件費などの団体運営にかかる経費は対象となりません。

【助成金額】
一団体上限3万円
※今年度は選考により5団体を上限として助成を行う予定です。

【申込方法】
本会に設置するチラシ、またはホームページからダウンロードした「申込書」および「団体の概要」に必要事項を記入の上、本会まで郵送または持参してください。
4月27日（金）必着

■申込み・問合せ先：天白区社会福祉協議会
担当／鈴木（連絡先は本紙1面上部に記載）

赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました!!

平成29年度　赤い羽根共同募金実績額

9,669,361円

一般募金実績額	9,446,136円
歳末たすけあい募金実績額	223,225円

今年度も区民の皆様から多くの募金をお寄せいただきありがとうございました。お寄せいただいた募金は、約70%が天白区の地域福祉活動に、約30%が愛知県下の民間社会福祉施設の整備等に役立てられます。

名古屋市天白区共同募金委員会（天白区社会福祉協議会内）
TEL. 809-5550　FAX. 809-5551

使いみちなどの情報につきましては、ホームページ（http://akaihane.or.jp）をご覧ください。

広告募集中

「ぱわわ★天白を元気にする情報紙」に広告を載せてみませんか??

・次号発行：平成30年6月8日（金）　・発行部数：約58,500部
（中日新聞折込及びポスティングにより各戸配布しています）
・広告募集枠：広告掲載料/中面1枠…　18,000円
※複数枠掲載や連続掲載による割引もございます。詳しくはお問合わせください

連絡先　天白区社会福祉協議会　担当：立松
（連絡先は本紙1面上部に記載）

ぱわわな 子育て日記 No.56 『人工呼吸器』

「人工呼吸器をつけている人」って、どんな人を想像するでしょうか?

意識不明の患者さん?寝たきりのお年寄り?いろんな方がいらっしゃいますが、わが家のねえね（10才）は元気いっぱいで、おしゃべり大好きな女の子です。

そうなんです。なんと、人工呼吸器をつけていて、おしゃべりもできるんです。

気管切開をしていると、声が出ないのが普通で、ねえねもはじめは声が出ませんでした。私も、そんなものだと思っていたのですが、7才頃から少しずつ声が出せるようになってきたのです。

赤ちゃんが言葉を覚えるように、最初は「アー、アー」という喃語から始まり、オウム返しで人の言葉をマネし始め、だんだん意味のある片言の単語が出てきて、「アリガトー」「イイヨー」。

そのうち、いたずらもできるようになり、おもちゃをわざと床に落として、

「オチタヨー」「ヒロッテー」などなど。

最近は、私がくしゃみをすると、「オカアサンガ、ハクションシタ」と言って、ケラケラ笑います。

なんだか順序が逆ですが、弟のチビが話し始めた頃を思い出してしまいました。

再び赤ちゃんがやってきたような幸せな気持ちです。

この半年は、学校の先生も驚くほどめざましい勢いで言葉を覚え始め、子どもって、すごい可能性を秘めているんだなーと、あらためて感じる今日このごろです。

（サトコ）

No.47 ぱわわな 介護日記

認知症の人の世界を知る（その44）「認知症の方の理解 ～拒否の奥にある“こだわり”～」

Hさん（85歳男性）は、認知症と診断されるまで毎日車を運転されていた方です。道に迷うことが増えたため、娘さんと相談の上、免許を返納されたばかりです。Hさんは、運転をやめて以来、急に外出をされなくなりました。Hさんの外出機会を増やそうと、デイサービスなどにお誘いしますが、丁寧に拒否されました。ヘルパーは、Hさんの引きこもりが心配でした。

そんなある日、娘さんから「最近、父から『免許返納証（運転経歴証明書）はいつできるか?』と何度も電話がある」と相談されました。娘さんは、毎回交付日を伝えていますが、Hさんが忘れられるため、何度も確認があるようでした。

「免許返納証に何かある!」と思ったヘルパーは、Hさんにそれとなく聞いてみました。すると、物忘れの自覚があるHさんは「外出中に迷って迷惑を掛けたくないので、自分を証明できるものが欲しい」と話されました。

免許返納証は、運転免許証と同じカードで身分証になります。Hさんは「もし道に迷っても、身分証で住所を示すことができれば、タクシーで帰宅できる」と考えられていました。Hさんは、その“こだわり”から、身分証が無いままの外出はしたくなかったようです。

このように、認知症の方の行動には、必ず“こだわり”があります。Hさんは「身分証を持った外出」が“こだわり”でした。そのため、Hさんにとって「身分証が無い外出」は、たとえ目と鼻の先のお店であっても、当然拒否になりました。

その後、ヘルパーは、Hさんの“こだわり”に配慮して、外出の催促を控え、交付日まで待ちました。そして、先日、ついに免許返納証が交付され、待ちに待った身分証を手にしたHさんは、喜んでコンビニへ出かけられました。（モカ）

ぱわわ ギャラリー　植田南学区「小澤和子」さんの作品です。

きっかけは、息子さんに連れて行ってもらったヨーロッパの教会のステンドグラス。そのステンドグラスがとても綺麗だったことから、ご近所のガラス工房に行き、現在の先生と出会い、色々な作品を作るようになったそうです。

取材に伺ってまず驚いたのは、ご自宅内の扉…まるで初めからデザインされていたようですが、ガラス部分は全て小澤さんの作品です。他にも、ミニテーブルやクリスマスツリー、ランプなどの力作が部屋の至る所に!クリスマスツリーは約2週間かけて作られたもので、昨年の介護フェスタのにんじんcafé作品展で見事大賞に輝きました。受賞についてお聞きすると「皆さんがよいと思ってくれてありがたいです」と、とても喜んでいらっしゃいました。

どの作品も光を通すことで、改めてガラスの綺麗な色や温かみを感じられます。作り方を伺うと、まずスケッチで作品の色や形を決めて型紙を作り、板ガラスを切って繋げていくそうです。細いパーツや小さなパーツは割れやすいため特に注意が必要となります。また、立体の作品は面で作ったものを繋げていくため万が一、途中で形が合わなくなったら切り直しになってしまうという難しさもあるそうです。

「お金も時間もかかるけど、いいものを作りたい」と、笑顔で話してくださった小澤さん。現在はバラの花の作品を制作中です。このぱわわが発行される頃には、また一つ素敵な作品が出来上がっているのではないでしょうか。

▲にんじんcafe作品展 大賞受賞作品

編集後記

今回の取材は、環境事業所ということで編集時に話題になったのが、カラスの賢さについてです。口ばしで上手にネットを開けてゴミ袋をあさっていたり、時には カラス同士が助け合ってネットを開けていることも…。分別もちょっと忙しいと「まぁいいか」といい加減な出し方をしている自分に反省ですm(_ _)m。今後は、ゴミの分別もしっかりとやります。（Boo―）

善意の輪

次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。
厚くお礼申しあげます。
天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。
（平成29年11月1日から平成30年1月末日受付分 受付順）

○天白民踊・舞踊同好会　様　　○匿名　2件　　●合計　3件